

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	にじいろデイズ市川新田			
○保護者評価実施期間	2025年4月15日 ～ 2025年4月22日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数)	20人
○従業者評価実施期間	2025年4月1日 ～ 2025年4月18日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎朝の朝礼や月1回の会議でお子さんの情報共有ができています。	・レッスン後にフィードバックの時間を取り、その日にレッスンの目的やお子様の様子を伝えている。	・訪問支援と連携することで、事業所と園で同じ支援が取り組めている。
2	・お子さんに合わせた支援に取り組んでいる。	・保護者からお子様の様子やお悩みを共有頂いた上で、お子様ひとりひとりに合わせた支援内容を組み立てている。	・FB以外の時間で、保護者へ相談支援する時間もより意識的に取っていく。
3	・研修体制 参加者が他職員に共有できている。	・月1回の外部研修をリモートで全員参加している。	・リモートだけでなく実践研修にも参加を増やしていく。

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎がないため、家庭の都合でキャンセルになってしまふことがある。	・来る時間や一枠の人数が決まっていて、制限があること。	・空き枠が出たらキャンセル待ちや振替を保護者に声掛けをし、空き枠が埋まるようにしていく。
2	・非常災害時や安全管理等について、詳細が周知できていない。	・事業所の保護者に、見えるところに掲示はしているが、言葉での周知が契約時以外できていなかった。	・避難訓練を実施した際には利用者全員に紙などでお知らせする。
3	・保護者同士の交流・行事が少ない。	・年1回のクリスマス会以外での保護者同士の意見・情報交換できる場が設けられていない。	・クリスマス会のほか。夏祭りなどのイベントも定期開催を心掛け、情報交換できる場を設けていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
にじいろデイズ市川新田		2025 年 5 月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・十分なスペースが確保出来るように利用人数を調整しながら実施している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・集団レッスン、個別レッスン共に利用児童の発達段階や様子に合わせて職員の配置数を基準よりも多く配置している。	・常勤指導員が少ない為、非常勤職員の研修時間を確保し、質の向上に努める。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・トイレでは補助便座や踏み台を活用して環境を整えている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・レッスンごとに玩具や机、椅子など使用したものの消毒を行っている。 ・危険が予測される場所は、職員間で日々、情報共有している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・会議の場で、直接支援・間接支援共に全職員に共有や連携等の話し合いを行い、朝礼やレッスン終了後にもその都度共有し、振り返りと目標設定をしている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・毎年、保護者宛にアンケートを行い、その内容を開示している。保護者からの申出があった場合は、その内容に関して全体で共有し改善に努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		・定期的な第三者による外部評価の実施を検討する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・ABAでの支援において外部からのスーパーバイズによる助言や研修を受けている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・定期的なモニタリングの際にアセスメントを行い、今のこどもの状態について保護者や担当職員から話を聞いて作成している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・担当者会議の場を設け、児に関わる職員からの様子や、保護者からのモニタリングをもとに話し合いを行い作成している	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・個別支援計画に基づき、専門的支援実施計画を立てている。また、計画書の内容を支援内容として実施している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・外部団体により、作成されたアセスメントツールを使用している。(AI-PAC)	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・5領域を基に、短期目標、長期目標の設定をしている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・活動内容に関しては、職員全体で話し合い立案している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・季節にあった活動も取り入れながら取り組んでいる。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・個別レッスンでできるようになったことを小集団の場面で般化できるよう支援を行っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・集団レッスン前には担当職員全員で前回の記録をもとに支援方法について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・毎回記録を取り、振り返りができるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・ハグシステムを利用し、毎回レッスンの記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・個別支援計画の有効期限を最長6ヶ月とし、定期的に見直しを行っている。支援計画の内容によっては、短い期間での書き換えもを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・サービス担当者会議では、利用児童の担当職員の参加を必須とし、担当者会議に参加できる職員はなるべく参加するようスケジュール調整を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・スマイルプラン等、利用児童の移住する市区町村に応じて申し送り書類を作成している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	・必要に応じて連携を図り、情報の共有等を行っている。	
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		・今後検討する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・レッスン毎に保護者へのフィードバックを行っている。また、記録を作成し、詳しい内容を共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・限られた人数ではあるが、ペアレントトレーニングを行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約の際に分かりやすく丁寧な説明を心掛けています。利用者負担等については、法改正等で変更があった際は、その都度説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・アセスメントを行い、子どもの状況について共通の認識を持ったうえで保護者の方の意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・作成後に説明を行い、同意を得て支援をすすめている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・フィードバック時に保護者様とコミュニケーションを図り、より相談しやすい関係づくりを心掛けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・年に数回(クリスマス会など)の行事を通して保護者同士で交流する機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・相談や申し入れは可能な限り、速やかに対応できるように体制を整えている。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・LINEを活用し連絡事項や情報を発信しています。必要な場合にはおたよりで配信している。	・定期的なSNSの発信を心がけていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・鍵付きの棚に書類を保管しています。破棄する場合にはシュレッダーにかけ個人情報が漏れないようにしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・それぞれに対してのマニュアルを職員に周知し対応にあたっている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	2	・契約時に必ずアセスメントをとり、確認するようにしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			該当なし	該当なし
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	・玄関に避難経路を掲示している。	・掲示のみになっている。 ・安全計画を保護者への周知できていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で原因及び再発防止に取り組んでいる。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・年1回以上、事業所内研修を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		・現在は該当者がおりませんが、対象のお子さまがいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 にじいるデイズ市川新田

公表日 2025年 5月 15日

利用児童数 27

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	3	0	2	—	活動に合わせて使用するお部屋を分けています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2	0	2	—	保育士(5年以上)・作業療法士が在籍しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2	0	2	—	建物の共有スペースとなるのでスロープ設置は出来ませんが、ベビーカーでの来所の際には、インターフォンにて対応させて頂いています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	17	2	0	1	—	こまめに換気を行い、空気の入れ替えを行っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1	0	3	—	—
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	2	—	—
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	1	—	日頃からヒアリングを行いニーズを確認しておりますまた、お子様の状況に応じて作成しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1	0	1	—	—
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	2	0	1	—	個別支援計画と併せて専門的な計画書も事業所内で作成し、具体的な支援や支援段階を決めて支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	4	0	1	—	—
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	3	4	3	—	イベント等では兄弟児も含めた活動を行っています。皆様が参加しやすいよう日程を調整します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	0	3	—	契約時に細かく契約書、重要事項説明、料金表の説明をしています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	3	—	—
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	1	7	—	当事業所では、ペアスク(ペアレントトレーニング)を行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	4	—	レッスン毎にフィードバックを行い対象児の様子を保護者と話しています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	1	4	—	—
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	2	0	4	—	—
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	2	7	—	年1回以上の行事を開催し、お子さんだけでなく保護者同士の交流の機会を設けております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	3	0	4	—	LINE等を使用して常にスムーズな対応ができるように心がけています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	1	3	—	口頭だけでなくメールやLINEも活用し分かりやすい伝達を心がけています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	2	2	6	—	メールやLINEなどを活用し、定期的に配信できるよう心がけていきます。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	0	4	—	鍵付き書庫を使用し事業所内で管理しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	2	0	11	・避難訓練に参加しました。適切に誘導していただき、子供とともに避難場所までスムーズに到着できました。	また、各種マニュアルを作成し感染症や自然災害に対して迅速に対応できるようにしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2	0	12	—	年に1回以上、避難訓練を行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	2	0	8	—	—
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	2	0	8	—	—
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	1	—	—
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	1	0	1	—	皆様笑顔で来所して頂けているので今後も楽しい環境づくりに取り組んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	3	0	1	—	質の高い支援を継続できるよう取り組んでいます。